

南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 755

事業名	森林管理巡視業務委託		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	農業振興部	農林振興課		款	農林水産業費・6款
電話	0799 - 43 - 5025			項	林業費・2項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	林業総務費・1目	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職__食__づくり__夢あふれ__働く場を生み出すまちづくり__			
	まちづくりの目標	ふやさんか__食__づくりの担い手【農漁業】			
	施策目標	食づくりの源である豊穡の大地と海を守り、農業や漁業に携わる市民(若者、女性、元気な高齢者層など)を育てる			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助	

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 保安林を除く地域森林計画対象民有林9,319ha		対象人数(人) 52,410		
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 森林法の改正により、森林・林業行政における市町村の役割が強化されたことに鑑み、身近な環境の保全、飲料水の確保等に資する森林を保全管理し、森林の諸機能を維持するため、森林の状況を十分に把握しておく必要があり、森林管理巡視業務を実施する。				
		実施内容 (何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 森林管理巡視員を配置し、林野火災等の未然防止に関する巡視、山崩れ等の未然防止に関する巡視、間伐の遅れている過密林分等の調査、無届伐採等の調査、小規模開発等の調査等を実施する。				
	背景、委託根拠	(どのような現状・課題・要望があったか、また委託に至った根拠、他の自治体の動向) 森林法の改正により、市町村の役割が拡充され、森林の状況を十分に把握しておく必要があるため。				
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他	(淡路森林組合)		
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 新市に引き継ぐ。					

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	巡視のべ日数					指標単位
							日
	指標説明 (指標算出 方法等)	森林管理巡視員の年間巡視日数					
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	目標値	156	156	156	156	156	
	実績値	156	156	156			
	達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	-	-	
目標値設定 の考え方	1日あたりの巡視面積を750haとし、1ヶ月で南あわじ市の森林のうち、保安林以外の森林9,319haを巡視する。 年間巡視日数156日 = 1ヶ月あたりの巡視日数13日 × 12ヶ月						
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	直接事業費 (千円)	702	702	702	702	702	
	森林管理巡視業務委託	702	702	702	702	702	
	財源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他						
	一般財源[A]	702	702	702	702	702	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	28.2	28.2	
	事業量1(事業に要した日数)						
事業量2(事業に要した人数)							
年間経費([A]+[B])	702	702	702	702	702		
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4		
経費に関する 補足説明							

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
達成度	目標達成度	%	100.0	100.0	100.0	-	-		
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 計画どおり実施されている。						自己評価 (5点評価)	3	
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 巡視対象森林面積が9,319haあり、365日巡回しても1日25ha以上の巡視が必要であり、森林全体を巡視するのは困難である。						自己評価 (5点評価)	4	
			単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
効率性	事業単価	円	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4		
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 「国土保全対策」のうち「国土保全対策ソフト事業」として、山地災害の未然防止、山火事予防等公益的機能確保のため森林巡視の強化が例示されており、地方交付税の措置がなされている。						自己評価 (5点評価)	4	
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低					
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 森林法の改正により、市町村の役割が拡充され、森林の状況を十分に把握しておく必要がある。						自己評価 (5点評価)	5	
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		<p>組合員、所有者が高齢等の理由により、自ら管理できず荒廃森林が急速に増えつつあり、公益的機能の減退、木材の付加価値の低下等憂慮すべき事態が懸念される。</p> <p>間伐等の実施により健全な森林づくりは市に課せられた大きな使命であり、課題である。</p> <p>この為、先ず森林の状況を市が適切に把握すると共に、組合員、山林所有者に現状を認識して頂き施業の実行を促すことが必要である。</p>					<div data-bbox="821 1541 1388 2121" data-label="Figure"> <p>評価グラフ</p> </div>	

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	管理の行き届かない森林が急速に増えつつあるなか、山地災害の未然防止、森林の公益的機能の維持等のため、平成22年度も淡路森林組合に事業を委託して実施する。 なお、実施にあたっては、森林管理巡視業務実施要領に基づく業務内容を詳細に把握できるよう、また効果がわかりやすくなるよう報告方法を改善する。	同左。
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 山林の荒廃が進み、災害が起こった場合に被害が拡大する恐れがある。	